

平成18年度 労働保険特別会計 労災勘定 予算概要

区 分	平成17年度	平成18年度	比 較		対前年度比	備 考
	予 算 額	予 定 額	増	△ 減 額		
	百万円	百万円	百万円			
歳入予算額	1,389,444	1,368,477	△ 20,967		98.5%	
(内 訳)						
他勘定より受入	1,051,844	1,032,229	△ 19,615		98.1%	
一般会計より受入	1,281	1,242	△ 39		97.0%	
未経過保険料受入	23,488	23,861	373		101.6%	
支払備金受入	186,474	185,300	△ 1,174		99.4%	
運用収入	105,611	102,673	△ 2,938		97.2%	
独立行政法人労働安全衛生総合研究所納付金	0	7	7		—	
雑収入	20,746	23,165	2,419		111.7%	
歳出予算額	1,176,895	1,165,441	△ 11,454		99.0%	
(内 訳)						
給付費	928,353	923,458	△ 4,895		99.5%	
業務取扱費	53,903	55,621	1,718		103.2%	
労働福祉事業費	122,211	111,130	△ 11,081		90.9%	
他勘定へ繰入	62,428	65,232	2,804		104.5%	
予備費	10,000	10,000	0		100.0%	

区 分	平成17年度	平成18年度	比 較 増 △ 減 額	備 考
	予 算 額	予 定 額		
	百万円	百万円	百万円	
歳 入	1,389,444	1,368,477	△ 20,967	
1. 他 勘 定 より 受 入	1,051,844	1,032,229	△ 19,615	
(1) 保 険 料 収 入	1,051,440	1,031,794	△ 19,646	労災保険率改定分及び最近の経済動向を考慮した収入予定額 (対前年度比 98.13%)
(2) 雑 収 入	404	435	31	延滞金、追徴金等の雑収入
2. 一 般 会 計 より 受 入	1,281	1,242	△ 39	労災保険事業に対する国庫補助見込額
3. 未 経 過 保 険 料 受 入	23,488	23,861	373	既に収納された有期事業に係る保険料のうち、平成18年度に係る保険料受入見込額 (前受保険料)
4. 支 払 備 金 受 入	186,474	185,300	△ 1,174	既に業務災害及び通勤災害を受けた労働者等に対し支払われるべき給付見込額
5. 運 用 収 入	105,611	102,673	△ 2,938	財政融資資金への預託金の利子収入見込額を計上
6. 独立行政法人労働安全衛生総合研究所納付金	0	7	7	「独立行政法人労働安全衛生総合研究所法」(仮称)の規定により独立行政法人労働安全衛生総合研究所(仮称)から納付される納付金の受入見込額(新規)
7. 雑 収 入	20,746	23,165	2,419	返納金 10,350百万円 → 10,351百万円 雑入等 10,396百万円 → 12,814百万円

区 分	平成17年度	平成18年度	比 較	備 考
	予 算 額	予 定 額	増 △ 減 額	
	百万円	百万円	百万円	
歳 出	1,176,895	1,165,441	△ 11,454	
1. 給 付 費	928,353	923,458	△ 4,895	
(1) 保 険 給 付 費	802,297	798,852	△ 3,445	平成18年度における給付見込件数、受給予定者数の動向等を勘案して算出 1. 短期給付等 417,763百万円 → 410,579百万円 2. 長期給付 384,534百万円 → 379,866百万円 3. 特別遺族給付金(新規) 0百万円 → 8,407百万円
(2) 特 別 支 給 金	126,056	124,606	△ 1,450	休業特別支給金等
2. 業 務 取 扱 費	53,903	55,621	1,718	労災保険事業の運営に必要な事務費
3. 労 働 福 祉 事 業 費	122,211	111,130	△ 11,081	内訳 資料5-3参照
4. 他 勘 定 へ 繰 入	62,428	65,232	2,804	保険料返還金及び保険料徴収等のための事務費等 1. 保険料返還金 50,054百万円 → 53,383百万円 2. 事務費等 12,374百万円 → 11,849百万円
5. 予 備 費	10,000	10,000	0	